

基山町地方創生事業



アイが大きい基山町

～住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山～

平成30年10月

佐賀県 基山町

平成26年度補正

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

～地方創生先行型～ 事業費:31,070千円

○基山PAふるさと応援市場の運営事業

九州最大のパーキングエリア、基山PAのコンビニ店舗前のスペースを活用して、基山の情報発信基地及びミニ物販直売所、「基山PA・ふるさと名物市場」を設置した。地元中小企業の商品開発力やブランド力の向上を支援するとともに、ふるさと納税、通販、宅配など、各種機能との融合を図った。



○宅配・基山LLP協議会

家庭配置売薬業(売薬)の歴史・土壌がある基山町では、現在でも、福岡都市圏への季節性を活かし、宅配を行っている事業者が多い。そこで、宅配を行っている業者のネットワークを構築し、宅配を専門に行う協議会を結成し、宅配機能の多様化及び在庫管理システム化と運送の効率化を図るモデル事業の構築を行い、町内空き店舗の活用と雇用の増加を図った。



○SGK(すごか)プロジェクト

～Senior makes Great Kiyama～

町内には、大学教授OBや上場企業役員OBなどのスーパーシニアが多数在住している。この経験豊かなシニア層を「す(Su)ご(Go)か(Ka)」として登録し、子育て世代へのマッチング、地域力の底上げを図ると同時にセカンドライフにおける地域貢献と生きがいの創出、健康志向の引上げをめざすため、SGKの組織化と活動拠点の整備を行った。

平成26年度補正

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

～地域消費喚起・生活支援型～ 事業費：23,959千円

○基山町ふるさと応援通販プロジェクト事業

基山PAふるさと応援市場のリピーターをメインユーザとした、独自の通販システムを構築した。既存の通販ツールを最大限に活用し、独自の工夫を加えこれまで通販の経験がないものを通販の世界へ誘導するとともに、パッケージデザイン等のサポートを行い、名産品の底上げを図った。



○基山町KAPPO事業

プレミアム付き飲食券を販売することにより、町内の飲食店の販売額の増加を目的に、きやまKAPPO(飲食店巡り)を実施した。

○基肄城築造1350年記念麺フェスタ事業

基山町及び周辺の麺類店舗が一堂に会する「麺フェスタ」を開催し、麺類の食品券をプレミアム付きで販売することにより、町内における消費を喚起した。

○基肄城築造1350年プレミアム商品券事業

基肄城築造1350年を記念し、基山町商工会によりプレミアム付商品券の発行を行った。



平成27年度

さが段階チャレンジ交付金 事業費:23,729千円

○六次産業化による耕作放棄地対策事業

中山間地区猪ノ目集落が実施主体となり、耕作放棄地対策としてエミューを飼育、ならびにエミューの商品開発を実施した。雛の飼育から食肉等の活用までの一貫した体制の確立により、六次産業化を推進を図った。



○アンテナショップを活用した「ひと・もの・しごと」の発信事業

JR基山駅前に立地しながら4年間空き店舗であったスペースを活用し、佐賀大学都市工学部の学生と地域住民による改修(リノベーション)により交流・しごとのスペースとしてオープンさせ、子育てママや若い世代の交流スペースとして活用している。

○竹を資源とした地域おこし事業

・NPO法人かいらう基山が実施主体となり、森林保全を目的として伐採した竹を利用したきゅう肥による農産物の生産等を行った。農畜産家に竹伐りや竹チップ作りにも参画してもらい、付加価値のある牛きゅう肥を作り、それを農家が堆肥として使い、健全な土壌を作り、健全な農作物を作る循環体制の構築を行った。



平成27年度補正

地方創生加速化交付金

～基山・魅力ある空間形成プロジェクト～ 事業費：36,124千円

○ローカルシェアリングセンターの運営委託

新たな働き方の提案、新規創業を目指すため、人材の育成、特に女性の就労支援を行った。



○官民共同による共通名刺作成システムの構築

ブランディングに基づく台紙を作成し、町内のだれもが活用できるものとする。その名刺にはQRコードを印字し、映像コンテンツに誘導し、共通の名刺作成システムを構築した。

○パーソナルモビリティ(次世代電動車いす「WHILL」)を活用した商店街買い廻り実証実験)

パーソナルモビリティを用いた買い廻り実証実験を行い、高齢者等への魅力ある空間とにならないか検証を行った。



○四か国語対応観光ルートサイン整備

インバウンドを含めた観光客のため設置。案内板にQRコードを設置した。基山町内での観光や散策のため、スマートフォン・タブレット向け観光アプリ「LOOK UP KIYAMA」の配信を開始した。

平成28年度

さが未来スイッチ交付金 事業費:10,078千円

○歴史的文化遺産を活用した婚活応援事業

町の歴史文化遺産や恋人の聖地である「大興善寺 契山」を巡り、歴史文化遺産に関するクイズ等を実施する婚活イベントを開催し、基山に住むきっかけ作りを実施した。



○基山オリジナル発酵食品群拡大事業

基山町由来の草木から分離・培養した酵母・乳酸菌を用い、オリジナル商品の開発を、産業振興協議会に参画する事業者が連携して行った。つつじ、柿、茶等に由来する酵母・乳酸菌の分離培養により、物語性を持った商品の開発に繋がった。

○竹チップきゅう肥による循環型農業の定着化事業

専門機関への委託によるきゅう肥の成分分析を行い、きゅう肥販売による事業の自立化を目指すとともに、きゅう肥の安全性を確認し、農家が安心して使用できるきゅう肥生産の実現を図った。

平成28年度 ※平成29年度継続 ※※平成30年度継続

地方創生推進交付金 ～多世代希望のまち基山～

H28事業費：39,958千円
H29事業費：5,698千円
H30事業費：5,800千円

○ピカピカの一年生プロジェクト

就学前の教育・保育から小学生教育へ移っていく過程においてトータルサポーターを配置し、4歳児全員(小学校就学1年前)に対し、「どの子も伸びる力を持つ」を前提に発達診断検査を行うなど、教育の連続性と学びの基礎力を養うための支援を行った。



○「ようこそ井戸端会議へ！」プロジェクト

未就園児を子育て中の親(ママ)を対象とし、子育て経験者が講師となり、「知りたい、学びたい、触れたい」と思う教室や講座を開設し、「つどい・語る」ことができる場、かつ、多世代の交流の場を設け、地域で子育てを行う環境づくりを行った。

○住まいるプロジェクト

福岡放送(FBS)や西日本鉄道、福岡を中心に全国に移住ネットワークを持つ「福岡移住計画」とコラボレーションし、基山のまだ知られていない魅力＝基山の！(ワンダー)を題材にCMやテレビ番組の制作、福岡市内を循環するバスや主要駅などでポスターを展開するなど、シティプロモーションを兼ねた移住定住プロモーション「基山！(ワンダー)移住」プロジェクトを実施した。さらに、学生のアイデアと地元業者の技術により空き家を移住体験住宅としてリノベーションを行った。



平成28年度補正

地方創生拠点整備交付金

～多世代交流拠点整備プロジェクト～ 事業費：215,115千円

概要：町民の新しい多世代交流の拠点として既存の福祉施設『老人憩いの家』を全面見直し、多世代の交流拠点として整備することで、各世代の孤立化を防止し、世代間交流事業の契機となる取組を促進する。誰もが活躍できるまちづくりの拠点として、まちの活力と人財の創生を目指す。

○基山版CCRC事業

住みなれたまちに住み続けるために、役場定住促進室と連携し、町内のサービス付き高齢者住宅等への住み替えをサポートするなど、高齢者が安心して生活できる支援体制を目指す。



○楽しいシニアライフ

介護や健康に関する相談など情報提供を行うコンシェルジュを配置し、関係機関と連携することで窓口のワンストップ化を図る。



○おやこde一緒にプロジェクト

キッズスペース「きやまランド」を設置し、子どもたちを中心に子育て世代、子育て経験者、高齢者など世代を超えた様々なおやこが集い、見守り、支援する多世代憩いの場を創出する。

○うたごえ喫茶 ～音楽からの多世代交流～

音楽室の整備を行い、認知症予防を目的に昭和の歌謡・童謡曲を歌詞カードを見ながらみんなで歌う“うたごえ喫茶”を開催する。



○憩い食堂 ～多世代交流によるふれあい食堂～

地域の医療機関や福祉施設等と連携し、高齢者、子どもや大人、障がい者が共に集い語らう拠点づくりを目指す。参集した人々が食卓を囲む“憩い食堂”を展開し、孤食の解消を目指す。

平成29年度

地方創生道整備推進交付金

～基山町の発展に向けた交通ネットワークの整備～ 事業費:67,300千円

概要:町内の道路ネットワークを整備することで、地域住民の利便性の向上に加えて、災害時の集落孤立の解消を図る。また、町民の生活基盤の向上だけでなく、町内観光産業の活性化、林道・商工業の活性化といった、相乗効果を生み、訪れる価値がある町としての魅力の向上を目指す。

○地域再生計画の目標

項目	H27	H31	H33
大興善寺入園者数(人)	76,000	78,000	80,000
JRウォーキング参加者数(人)	2,478	3,300	4,000
特用林産物榊の売上額の増加(万円)	373	650	1,000
基山(きざん)草スキー利用者数(人)	11,346	14,400	17,100
基肆城跡および文化財の見学会・遺跡探訪参加者数(人)	150	220	300
間伐実施面積(ha)	3.2	5.0	7.0



平成29年度 ※平成30年度継続

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

H29事業費: 68,736千円

H30事業費: 11,951千円

○基山ダブルジビエ活用プロジェクト

食肉処理業の解体処理施設を建設し、それを中核とした連携体制を構築することによって、駆除・飼育からと畜・捕殺までの入口から、一般消費者・観光客への精肉・メニュー開発による肉の活用の出口まで、一気通貫型のエミュール肉、イノシシ肉の活用を行う。



○基山町合宿所整備プロジェクト

スポーツ振興を核とした基山町の活性化を図るため、現在町内には存在しない宿泊機能を備えた施設について、調査検討、建設条件等の整理をして整備する。交流人口の増加を図るとともに町の活性化を推進する。



○基山草スキー再生プロジェクト

基山草スキーを再生するため、本計画では、荒れている草スキー場の草の養生を含めた再生や幼児に対応したコースやロングコースといった新たな魅力あるコース設定による草スキー場の再整備及び草守基肄世界大会の開催支援などを行う。

○きやまRESASデジタルアカデミー事業

RESAS(地域経済分析システム)にて、ビックデータを活用した情報の収集と地域課題を分析し、解決のための方策を町民が提案する機会を創出し、地域住民のスキルの向上を図る。



平成28年度補正

第2回地方創生拠点整備交付金

事業費：134,345千円

～宿泊機能のネットワーク化に向けた拠点施設の整備プロジェクト～

概要：町内に所在する法人所有の宿泊施設（寺院、学校寮、公民館、企業研修所等）等をネットワーク化するとともに、そのネットワークの中核として宿泊・研修利用サービスの安定供給機能を担う拠点施設（基山町合宿所）を整備する。

宿泊施設のネットワーク化



町内宿泊場所の創出による町の活性化へ



地方創生推進交付金

H29事業費：26,964千円

H30事業費：7,332千円

基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～

① 山村集落による 里山サカキプロジェクト

森林所有者が連携して榊の増産を目指す。また作業の効率化を促進するため林地内の作業道を整備する。さらには、廃棄していた未利用部分を利用した六次産品を開発し販路の拡大を図る。

【担当課：産業振興課】



- ・森林所有者の所得向上
- ・基山産榊の品質安定
- ・ブランド力向上
- ・販路拡大
- ・作業の効率化
- ・山林の保全

② 子育て家族セルフデザインプロジェクト

子育て中の保護者のワークショップなどを通じて、利用者の視点で知りたい情報を反映させた「子育て支援ガイドブック」を作成する。

【担当課：こども課】



- ・子育て世代から見たまちの魅力発見
- ・情報発信
- ・地元への愛着形成
- ・仲間づくり

③ 食やスポーツに基づく健康ブランド事業

スロージョギング®の運動効果と「キクイモ」の摂取による健康増進の効果を血液検査等の測定を行い、分析結果を検証する。

【担当課：健康福祉課】



- ・健康意識の向上
- ・健康生活の増進
- ・スロージョギング®の継続実施
- ・キクイモの栽培促進
- ・健康なまち基山のアピール

④ 特産品開発事業

注目されているエミュー等が真の特産品となるとともにブランド力の向上を図る。またそれぞれの特産品のブラッシュアップを図る。

【担当課：産業振興課】



- ・六次産品の開発
- ・特産品の販路拡大
- ・宅配、通販、基山PAの利用促進
- ・飲食店等との連携

⑤ 双方向型地域情報サービス

基山町ホームページで様々な発信ツールを媒体として、利用者等が自由にアクセスできる情報システムを構築する。

【担当課：総務企画課】



- ・自治体と地域住民との情報共有
 - ・自治体
 - ・里山住民
 - ・まちの住民
 - ・健康志向グループ等々

基山町

小さくても ✨ キラリ ✨ と光る

◇ 選ばれる町へ～
ブランド化推進！

平成29年度

さが未来スイッチ交付金

事業費：12,294千円

○歴史的文化遺産を活用した婚活促進事業

婚活応援事業としての婚活セミナーやイベントに加え、婚活登録者同士のマッチングを実施すると共に、婚活支援員が講座や研修会に参加することにより、交際率・成婚率アップを目指す。



○駅前にぎわいづくり事業

JR基山駅からモール商店街の導線が結ばれるようなイベントやお祭りを開催すると共に、将来的に駅前イベントが開催できるよう駅前ロータリーとしての機能を維持しつつ継続的な施設整備を図る。

○経験豊かなシニア層を活用した地域活性化事業

豊かな経験や発想力を持つシニア層を基山SGKに結集し、多世代コミュニケーションスペースの運営、子どもの居場所づくりを目的とした寺子屋の開催、健康づくりイベントの実施など地域活性化を図る。



平成30年度 地方創生推進交付金

事業費：10,300千円

基山スマートウェルネス事業～コンパクトに暮らそう健幸のまち～

概要：高齢化が進展し特に一人暮らしの高齢者が増加しているなか、地域での孤立化を防ぎまちなかへの外出によって、健康やコミュニティの維持ができるよう、住民一人ひとりが主体的に健康増進に取り組むための①動機付けや②集う場づくり、さらに③世代間交流等の事業を実施し、健康で生きがい創生のまちづくり(=健幸のまちづくり)の実現を目指す。

健康に関する指針策定

・健康長寿社会の実現に向けて、健康づくりの指針を定める。

①外出の促進・・・孤立化を防ぐため外出機会を創出する

・健康マイレージ制度の導入

健康ポイント+健康増進事業+公共施設等利用 → ポイント付加

・まち歩きを創出

(ウォーキング案内サインの設置、電動サイクルの設置、基山駅前ロータリーの再整備、(都市再生整備計画事業))



どこへ

②集う場づくり・・・人と関わる居場所をつくる

・公共施設の利用促進(健康マイレージポイントの付加)

・中心市街地に集約された商業施設や医療機関の利用促進

・モール商店街にぎわいづくり事業 (都市再生整備計画(ソフト)事業)

・健康教室、スポーツ教室等への参加の促進

(スロージョギングR教室の実施など)



みんな

③コミュニティ増進・・・誰もが地域の担い手

・健康食材の飲食店メニュー開発促進

エミュー肉やキクイモの普及啓発・・・食べて話して健康づくり⇒消費者

・中心市街地でイベントの開催

基山町の特産品を利用したイベント、祭り等を実施⇒参加者

・食とスポーツを組み合わせたダイエット合宿の開催等

参加者同士がつながり、自主的な活動の開始⇒実施者



コミュニティ形成による循環型社会へ

※スマートウェルネス・・・高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するため「健幸＝健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりの支援体制を構築する。

平成30年度(第2回)生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金(基金造成事業)

基山町版ハローワークと連携した子育て就労支援施設 「基山っ子未来館(仮称)」整備事業

事業費:588,063千円

概要: 新設する「基山っ子未来館(仮称)」を誰もが気軽に訪れることができる子育て支援及び就労支援のための拠点施設と位置付け、基山町版ハローワークとの近さを最大限に活用して、子育て世代の働く力を引き出し、地域の人々のワークライフバランスの向上と雇用創出や事業者の生産性革命による地域活性化を推進する。

仮称 『基山っ子未来館』

町立保育所

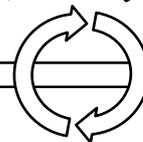


子育て交流
広場



基山町版
ハローワーク

無料職業紹介所



地域の
中堅・中小・小規模事業者等



地域の人々の

- ワークライフバランスの向上
- 雇用の創出
- 生産性革命の推進



※ 基山町のまちなみ



※「基山っ子未来館(仮称)」の建設イメージ

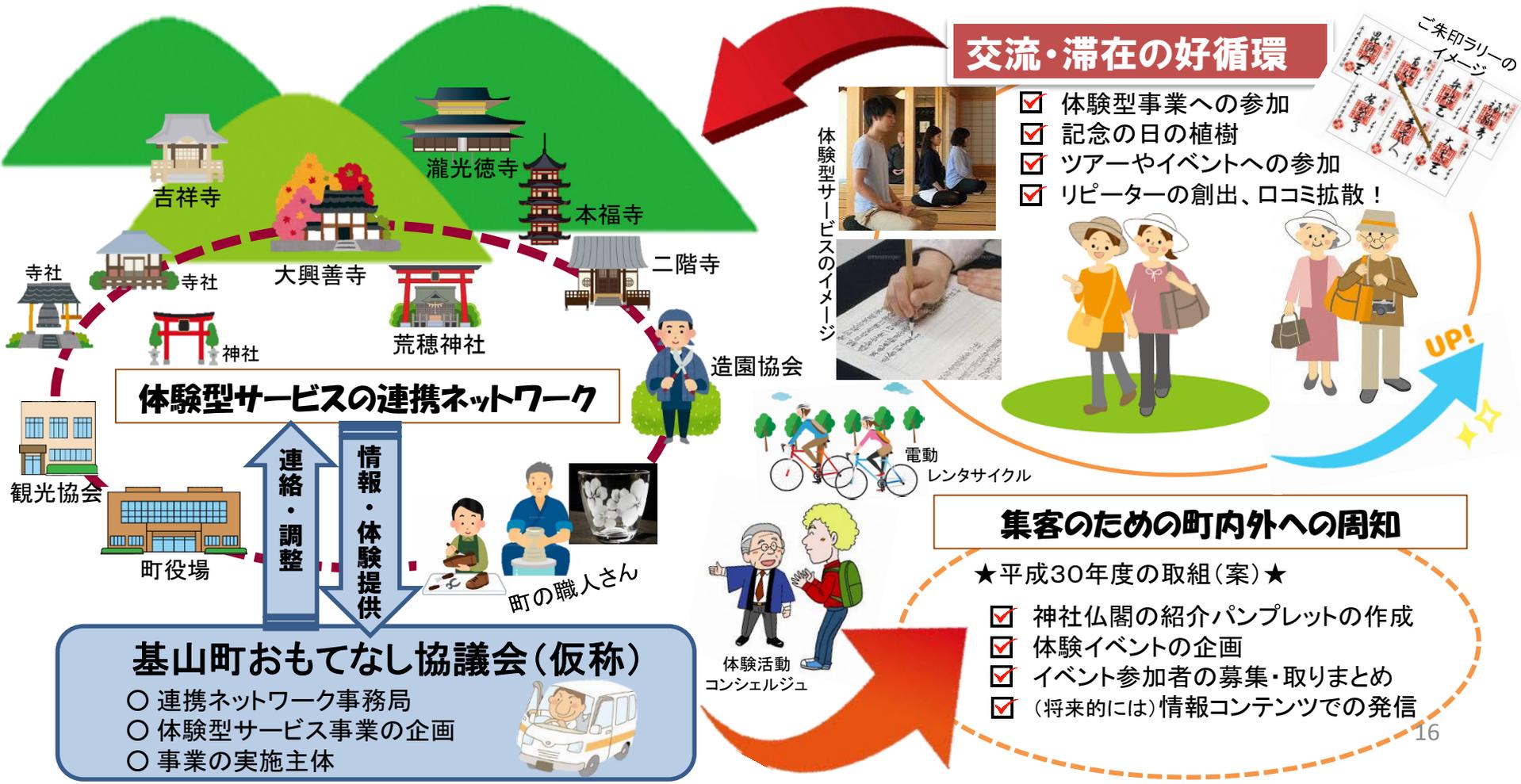


平成30年度(第2回) 地方創生推進交付金

歴史・伝統文化資源を活用した体験型サービス&地域の担い手創出事業 ～特別な一日の体験から魅力ある地域へ～

H30事業費: 5,434千円

概要: 町の歴史や伝統文化を体験型集客サービスとして提供し、人々の特別な一日を演出するとともに基山町の魅力を発信するため、神社仏閣の関係者や町の職人らが連携し、おもてなしの取り組み等をネットワーク化するなど、新たな集客サービスを自らが創出する仕組みを構築する。



基山町おもてなし協議会(仮称)

- 連携ネットワーク事務局
- 体験型サービス事業の企画
- 事業の実施主体

平成30年度

さが未来スイッチ交付金 事業費：9,300千円

○民俗芸能を活用した地域活性化事業

民俗芸能の保存継承に必要な用具の整備を支援するとともに、周知のためのポスター、パンフレット等を作成し啓発を図る。また祭り会場に組立式観覧席を設置する、会場への案内看板やコミュニティバスを運行するなど来場者が楽しめる環境をつくる。



御神幸祭



多世代交流センター内部



人づくり大学イメージ

○きやま人づくり大学事業

基山町独自の人づくり大学の開校に向けたワークショップを行い、地域課題や取り組みに対するアイデア等を取り入れながら、町立図書館を拠点にプレ大学を開校し、地域での活動や仕掛けにつながる町民参加型大学の開校を図る。

○多世代交流拠点活用事業

リニューアルした『多世代交流センター憩の家』にて子どもから大人まで楽しく学べる講座などの提供を行い、町民の利用増進を図る。

○歴史的文化遺産を活用した婚活促進事業

婚活応援事業としての婚活セミナーやイベントに加え、婚活登録者同士のマッチングを実施すると共に、婚活支援員が講座や研修会に参加することにより、交際率・成婚率アップを目指す。

○経験豊かなシニア層を活用した地域活性化事業

豊かな経験や発想力を持つシニア層を基山SGKに結集し、多世代コミュニケーションスペースの運営、子どもの居場所づくりを目的とした寺子屋の開催、健康づくりイベントの実施など地域活性化を図る。